

第1回高円寺会館改築設計者選定委員会議事要録（要点筆記）

日 時：平成 17 年 1 月 17 日（月）14:30～16:30
 場 所：杉並区役所 中棟 4 階 理事者控室
 出席者： 委員：古谷委員長、村上副委員長、本杉委員、鳥山委員、四居委員
 事務局：区民生活部 / 大藤管理課長、横山施設計画担当係長、地引主任主事
 政策経営部 / 大塚営繕課長、米山、湯浅
 配布資料：1.杉並区高円寺会館改築設計者選定委員会設置要綱
 2.高円寺会館改築設計者選定実施要領（案）
 3.高円寺会館改築資質評価型プロポーザル スケジュール（案）
 4.審査について（案）

大藤管理課長による開会、委員自己紹介のあと、委員長及び副委員長の選任を行なった。
 以下、古谷委員長により議事が進められた。

議事概要	
	1. 高円寺会館改築設計者選定実施要領（案）について 大塚営繕課長が実施要領案を説明した後、議論を行なった。
委員 長	・実施要領案について、意見等あれば出してほしい。
A 委員	・2次審査提出図書のA2版片面では、小さいのではないか。
事務局	A1では大きい。提案者の負担になる。
B 委員	この敷地規模でかつ無償で出してもらうのであれば、A2で十分だと思う。
委員 長	・3次審査の公開プレゼンテーションをプロジェクトでやるのであれば、横のほうが大きく映るのでいいのではないか。
B 委員	・設計者の案により縦でも横でもいいのではないか。
事務局	A2版で縦でも横でも自由ということに修正したい。
B 委員	・P2の(4)高円寺会館の基本的な考え方のなかに、管理運営のありかたを書いておいたほうが、単なる貸しホールではないというイメージがより良くわかるのではないか。
委員 長	・複合施設なので、さしさわりがなければ見られるように出してほしい。
C 委員	・参考資料ということで、出したらどうか。
事務局	誤解を与えないように出したい。
D 委員	・敷地図及び現況図の北側路地状の部分について、通路として使っているのか等表現がわかりにくい。
事務局	今回の提案には使用しないことを明確にわかるよう表現を修正したい。
D 委員	・東側2項道路は使えるのか。
事務局	2項道路部分は区で所有している。避難上は有効に使える。
B 委員	・ . 第2次審査2（1） c.では、区民意見の聴取の図り方も提案するよう書かれているが、そのような区民団体があるのか。
事務局	区民団体はない。普通の施設では、基本設計の段階で区民に計画案を説明している。
委員 長	・区民の参画の方法については、設計者に自由に考えてもらうということはどう

D	委員	か。
	委員	・提案をしてもらうというより、「地域の参画を求める。」ということの区の気持ちが出てきているということで、今回のテーマではないのではないか。
	委員長	・必ず提案してほしいならば書いたほうがいいが。
	事務局	c. は削除し、「e. その他……」の中に区民意見の聴取の図り方を入れこみたい。
C	委員	・第3次審査では、新たな提出図書はないとあるが、本当はないのか。受け取り方により誤解を与えないか。
	委員長	「15分程度のパワーポイントでのプレゼンテーションをしていただきます。」と修正したらどうか。
	事務局	委員長の言われたように修正したい。
C	委員	・全体の工事費は示さないのか。
A	委員	・工事費があるとイメージできる。
	委員長	・工事費の提示はあったほうがいい。約 億円程度でもいいので出せないか。
	事務局	プランにより変わるので、算出が難しい。また、最近区で建設した類似施設もないので、参考になるような数字もない。
	委員長	・資質評価をするのには、過去の実績も評価の対象となる。様式1～3など作品を伏せて過去のことを書かれても判断できない。私情をはさまないという前提で、所属組織も含めて判断したい。審査の際に設計者や事務所名をわかるようにしてほしい。
B	委員	・5号様式で外観写真等を見れば設計者はわかってしまう。
	事務局	提案者の名前などを審査の際に出すようにしたい。
	事務局	今日の意見等をふまえて、実施要領案を修正したい。修正したものについては、委員長に確認してからホームページで発表することとしたい。
	委員長	・議事要録は、各位委員の確認の後ホームページに出すようにしないと、透明性や説明責任が果たせないのではないかと考える。
		2. 審査について
		大塚営繕課長が「審査について(案)」を説明した後、意見交換を行なった。
	委員長	・単純に点数で決めるのは、審査委員間の評価のバラツキがあり危険である。例えば、第1次審査では各委員が20者とりあえず選んで投票し、1票だけの提案者に投票した委員の理由・意見も聞いて、協議して決めるということかどうか。
D	委員	・応募者の数によっても各委員が何人を選ぶのが変わってくる。
C	委員	・各委員が10者選んで議論しながら決めていく、ということでもいいのではないか。
	事務局	・ヒアリング当日に結果を出さず、後日審議して選定するという考えもあるが。
	委員長	・腹をくくってヒアリング当日結果を出したほうがよい。第3次審査の選定過程も公開できればいいが、3名のプレゼンテーション・質疑応答の後、別室で審査し選定するのがいいように思う。

事務局	今回の意見をふまえて、次回事務局の案を提示したい。
事務局	3. 今後の選定委員会のスケジュールの確認等 第2回選定委員会は、2月10日(木)14:30分に高円寺会館に集合し、現地視察をした後、会議を開くこととなった。 第3回選定委員会は審査の時間もかかるので、事務局であらためて日程調整することとなった。 第4回(4月6日(水))の選定委員会の開催日については、特に異論は出されなかった。